

「北上市入退院支援のハンドブック」2023年度版を活用した連携会報告書

1 目的

令和6年1月に2023年度版として改訂した「北上市入退院支援ハンドブック」を活用して、入退院支援に従事する医療や介護専門職等の連携推進と更なる資質の向上を図ることを目的として開催する。

2 主催：北上市入退院支援作業部会

3 共催：地域包括支援センター主任ケアマネ部会

4 開催日時、場所及び参加人数

	地域包括支援センター名 (5圏域)	開催日時	会場	参加 人数
①	いいとよ（黒北・飯豊）	令和6年10月10日（木） 13時30分～15時00分	飯豊地区交流 センター	41
②	北上中央（相去・鬼柳）	令和6年9月25日（水） 13時30分～15時00分	特別養護老人ホーム 敬愛園	37
③	展勝地（立花・二子・更木・ 黒岩・口内・稲瀬）	令和6年8月22日（木） 13時30分～15時00分	口内地区交流 センター	39
④	本通り（黒東・黒西）	令和6年11月11日（月） 13時30分～15時00分	特別養護老人ホーム さくら爽	39
⑤	わっこ（江釣子・和賀）	令和6年10月16日（水） 13時30分～15時00分	江釣子地区交流 センター	36
合 計				192

5 受講対象機関及び参加者

(1) 医療機関の職員

岩手県立中部病院、北上済生会病院、花北病院、北上駅前病院、ホームケアクリニックえん、近隣の入院医療機関（岩手県立東和病院）、市内調剤薬局

※ 入退院支援に従事する専門職員等（退院支援看護師、医療ソーシャルワーカー等）、薬剤師等

(2) 介護事業所等の職員

地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、小規模多機能型居宅介護、（看護）小規模多機能型居宅介護、特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、認知症対応型共同生活介護、特定施設入居者生活介護、圏域内居宅介護事業所等（訪問看護、訪問介護、通所介護、福祉用具販売等）

(3) 行政の職員

長寿介護課（保健師、事務職）

6 内容

- | | |
|--|----|
| (1) 地域包括支援センター各圏域の状況について（北上市長寿介護課） | 5分 |
| (2) 令和5年度関係機関・団体等ヒアリング結果と抽出された主な課題について（北上市長寿介護課） | 5分 |

- (3) 令和6年度診療報酬・介護報酬ダブル改定のポイントについて 10分
「医療と介護の連携推進の観点から」(在宅きたかみ)
- (4) 入退院支援ハンドブック2023年度版の説明「STEP0～4」 20分
について、実践的に確認してみよう(入退院支援作業部会)
- (5) グループワーク：テーマ「未来に繋ぐ連携」(主任ケアマネ部会) 50分
5～8人のグループに分かれて、ハンドブック「STEP0～4」についてメンバーで話し合う。話し合った内容をグループごとに発表して全員と共有した。

● 地域包括支援センター5圏域参加者アンケート結果 ●

延べ参加者：192名(2か所以上の連携会に参加した者がいるため)

① 職種を教えてください

職種	人数	職種	人数
介護支援専門員	52	薬剤師	3
介護員	1	認知症地域支援推進員	1
訪問介護	3	福祉用具専門相談員	3
施設長	2	生活相談員	2
社会福祉士	3	生活支援コーディネーター	1
MSW	9	その他	4
看護師	14	不記載	32
医師	2		
保健師	5	(回答：137名)	

② 「北上市入退院支援ハンドブック」を知っていましたか

知っていたし活用したことがある	76
知っていたが活用したことがない	48
知らなかった	13

③ 「北上市入退院支援のハンドブック」は業務に役立ちますか

役に立つ	100
まあまあ役に立つ	36
あまり役に立たない	1
役に立たない	

【その理由】

- ・STEP0～4の場面別に、医療・介護従事者それぞれの立場で必要なことが一目でわかる
- ・知りたい情報、伝えた方がいい情報が一目でわかる
- ・入院前からの備え、入院～退院まで一連の流れを確認しながら業務を進める事ができる
- ・手順書になっており業務内容が確認できる
- ・重要なポイントが可視化されている

- ・学習会/新人研修/院内研修に使用している
- ・医療福祉サービスのチェック項目があり役にたつ
- ・自分のやり方で良いのか迷ったときに確認できる
- ・ハンドブックの内容と現実が違うことがあるため

④ 連携会に参加した感想

良かった	1 2 3
まあまあ良かった	1 3
あまり良くなかった	
良くなかった	

【その理由】

- ・いろいろな職種の方と交流、意見をきくことができた
- ・これまで関わったことのない方と話をすることができた
- ・利用者、家族のためにという希望を持って話し合いができた
- ・グループワークの時間が短かった
- ・もう少し深掘りしたいところもあったが時間がなく残念だった
- ・医療機関、施設などそれぞれの状況や課題をすることができ、今後に活かしていきたい
- ・普段、電話でのやりとりが多いので集まることができて良かった
- ・多職種でのグループワークは考え方の視点が違い良い刺激になった
- ・普段感じていることを聴くことができ、自分がやらなければならないことに気付くことができた
- ・それぞれの立場により関わる状況は変わってくるが同じ方向を見ていることを強く感じました
- ・在宅医療介護連携における地域の課題を確認できた。本人の心づもりや意思決定に活かしていきたい
- ・違う職種の方々と話し合いを通して薬局がいかに情報不足の状態で患者様と対面しているかわかった。もっと患者背景を知り日頃の業務に努めたい（薬剤師）
- ・市内の基幹病院の現状を知ることができた。テーマを決めて普段話せないことも話せてよかった
- ・連携情報は今後もっと詳細にした方がよい。とくに栄養や口腔について

● グループワーク話し合いのまとめ ●

話し合いの傾向や出された意見について取りまとめて、入退院支援作業部会の中で確認し、できていること、できていないこと、今後改善すべきことなどについてまとめる。

わたしのきぼうノート 配布一覧（令和6年度）

令和6年10月20日現在

月	出前講座		窓口	まちの 保健室	病院 診療所	包括	研修会 等	図書館	合計	備考（主な配布先）
	回数	人数								
4月			130	10		10			150	民生委員(20・窓口)・包括いいとよ(10)・社協江釣子支部(100)
5月			58			20			78	包括いいとよ(20)民生委員(30)暖 暖(20)
6月	1	12	100			20			132	包括中央(20)社協江釣子支部(50) ◆女性協講座6/27
7月			11	5			25		41	長寿川村勉強会(25)
8月			8	25		50	80		163	星野Dr講演会(80)包括展勝地(50)
9月			30	20	70	60	20		200	中部病院(20)千田クリニック(50) 包括展勝地(60)地域高齢者集いの 場(30)長寿川村(20)
10月			2		20		30		52	中部病院Dr星野(30)長寿川村 講演会配布(30)
11月									0	
12月									0	
1月									0	
2月									0	
3月									0	
合計	1	12	339	60	90	160	155		816	

R6.1.26 1,700部 第2版発行

R6.5.20 1,500部 増刷・納品

R6.10.31 600部 増刷・納品予定

◆これまでの配布状況◆

年度	窓口	医療機関	研修会等	合計
令和4年度まで	2,873	1,685	2,046	6,604
令和5年度	807	50	750	1,607
令和6年度	559	90	155	816
合計	4,239	1,825	2,951	9,027

令和5年度 わたしのきぼうノートの普及活動(実績)

実施日	実施内容	備考
令和5年9月25日	ノート作成班(改訂に向けた方向性の確認と改訂内容について)	13 人
令和5年 11 月 14 日	お試し会(飯豊地区交流センター)	17 人
令和5年 11 月 15 日	お試し会(稲瀬地区交流センター)	11 人
令和5年 11 月 16 日	お試し会(口内地区交流センター)	28 人
令和5年 11 月 28 日	お試し会(地域包括支援センターわっこのわ)	4 人
令和5年 11 月 30 日	お試し会(地域包括支援センターわっこ)	9 人
令和6年1月 25 日	シルバー人材センター 研修会	第2版を使用
令和6年1月 26 日	きぼうノート第2版 発行	1,700 部
令和6年 2 月号	北上市広報掲載	ノート改訂と図書館展示について
令和6年 2 月 10 日～ 3 月 10 日	図書館展示	柴内先生・千田先生・和泉さん

○ わたしのきぼうノートお試し会の声(第2版作成・発行にあたって)

回	実施日	実施場所	参加者
1	令和5年 11 月 14 日	飯豊地区交流センター	17 人
2	令和5年 11 月 15 日	稲瀬地区交流センター	11 人
3	令和5年 11 月 16 日	口内地区交流センター	28 人
4	令和5年 11 月 28 日	地域包括支援センターわっこのわ	4 人
5	令和5年 11 月 30 日	地域包括支援センターわっこ	9 人

飯豊地区交流センター(出前講座受講者)

- ・資料編はわからなかったことや知らなかったことなど色々あり助かります。
- ・主人と話すきっかけになって良いと思いました。
- ・高齢者だけでなく、若い人もいつ何があるかわからないので、若い人も活用した方が
いい内容だと思いました。
- ・認知症になったらと思った時に書き残しておくことは必要と思うが、現時点ではまだ
まだと思っている。少しずつ書き足していきたいと思っています。
- ・1冊にまとめてあるので、全体が分かる。
- ・改めて人生振り返って考えることができたので良いと思いました。
- ・はじめてなのでまだよくわからない。
- ・自分の考えについての反省や改めてさまざま思い起こした。
- ・一つ一つ考えさせられる。
- ・のんきに暮らしているので、全部考えさせられる。



稲瀬地区交流センター(きたかみいきいき体操グループ)

- ・前のノートより入りやすい気がしました。どこからでも書けると思います。
(項目どこからでも)
- ・主人の分も書いてもらいたいです。
- ・資料編があつて良かった。勉強します。
- ・自分の人生を振り返って考えることもない。毎日を過ごしていくので精一杯。宮澤賢治の「雨にも負けず」の心境でいます。(使っていきたい)
- ・「誰にどのようなサポーター」のページ。元気な時は考えていない。
- ・「緊急連絡先」はきぼうノートの中に？(必要か？)



口内地区交流センター(きたかみいきいき体操グループ)

- ・これからの人生についてすごく参考になります。健康に暮らす…の6項目わかりやすいです。(80代)
- ・毎日の生活の中でなかなかゆっくり考えることが難しいので、このノートはすばらしい。(60代)
- ・終活しなきゃと思っているが、まだ手つかず状態です。(60代)
- ・身近にいろいろ迫ってこないとよくわからない。(60代)

- ・もう少し簡潔にわかりやすい記入の仕方がないのか？一人で理解して記入できると良いと思う。(60代)
- ・自分だけで理解して記入するのは難しい。(60代)
- ・いっぱい色々とあり読むのが大変。



地域包括支援センターわっこわ(ちくちく隊協力者)

- ・お母さんにも書かせたい。
- ・役立つノートで助かります。
- ・何年間に一回書き直したい。
- ・健常者ではない方(視力障害や身体障害など)でも手に取り、きぼうを伝えられるノートであってほしいです。
- ・必ず介護を受けるという流れではなく、介護を受けない流れを作らなければならないと思う。



○ シルバー人材センター会員研修会

回	実施日	実施場所	参加者
1	令和6年1月25日	シルバー人材センター	18人

シルバー人材センター
・自分の過去の足跡を振り返って再認した。(60代) ・具体的にどこがどう書きにくい、書きやすいとは言えない。それだけ自分の気持ちに沿う内容となっているのだと思う。以前のノートより随分書きやすい、考えやすいものだと感じた。(70代) ・資料編が参考になりました。(80代) ・実家の母に勤めたいと思った。(50代) ・今後、きちんと記入していきたい。(80代) ・思いだしたくない記憶もよみがえってきましたが、楽しかった。いろいろなことを思い出させてくれてありがとうございました。(70代) ・もっと早くきぼうノートがあることを知りたかった。(80代) ・これからのことを考えたい。(70代) ・これからやりたいことや夢などを記入するページが必要と考えます。(70代)

○ 北上市立中央図書館への展示、“私のこころづもり”おすすめ本の紹介

	実施日	実施場所	来館者
1	令和6年2月10日～ 3月10日	北上市立中央図書館 ※令和4年度から2回目	14,351人



柴内一夫先生
「残酷人生論」池田晶子著



千田恵美先生
「羊は安らかに草を食み」
宇佐美まこと著



和泉安弘さん
「100年の旅」
ハイケ・フォーラ著

令和6年度 わたしのきぼうノートの普及活動(実績・予定)

実施日	実施内容	備考
令和6年5月31日	きぼうノート 増刷	1,500 部
令和6年6月27日	出前講座(北上地方生活研究グループ連絡協議会)	12 人
令和6年9月7日	障がい者福祉展(ノート周知)	36 人
令和6年9月10日	柴内先生インタビュー	北上ケーブルテレビ
令和6年9月26日	市民インタビュー(二子地区)	北上ケーブルテレビ
令和6年10月21日	北上ケーブルテレビ特番 「自分らしく歳を重ねる心づもりを～わたしのきぼうノートと成年後見制度～」	北上ケーブルテレビ 放映(二週間)
令和6年10月31日	わたしのきぼうノート 増刷・納品予定	600 部
令和6年11月6日	出前講座(社会福祉協議会黒沢尻東支部)	
令和6年11月17日	済生会フェア(ノート紹介コーナー設置)	
令和7年2月	図書館展示と体験会	

○ 出前講座(北上地方生活研究グループ連絡協議会)

回	実施日	実施場所	参加者
1	令和6年6月27日	江釣子地区交流センター	12 人

江釣子地区交流センター

- ・自分の生活を振り返る良い機会になった。(70代)
- ・私の連絡帳のページがよかった。
- ・きぼうノートの存在は知っていたが、書いたことがなかったので良かった。

○ 障がい者福祉展

回	実施日	実施場所	配布者
1	令和6年9月7日	江釣子ショッピングセンター	36 人

江釣子ショッピングセンター

- ・ぜひ親に書かせたい(40代)
- ・どういふものか内容を見たい(30代)

認定看護師等による出前研修申込・開催状況一覧【令和6年度】

番号	研修分野
1	感染管理
2	皮膚・排泄ケア
3	摂食・嚥下障害看護
4	認知症看護
5	緩和ケア
6	救急看護

施設コード	事業所種別
9	特別養護老人ホーム
10	介護老人保健施設
11	有料老人ホーム等
12	認知症グループホーム
14	短期入所（老健含む）

(開催日順：R6.12.3現在)

申込 No.	開催日	申込者		申込内容		講師 (所属先)	受講者数
		コード	事業所種別	番号	研修分野		
1	10/30	11	ケアハウス常心の里	2	皮膚・排泄ケア	(中部病院)	看護職 2名 介護職 他 11名
2	10/30	12	グループホームつどい	1	感染管理	(中部病院)	看護職 1名 介護職 他 7名
3	11/20	9	特別養護老人ホーム すずの里	1	感染管理	(中部病院)	看護職 1名 介護職 他 9名
4	11/26	14	ショートステイ北上	6	救急看護	(中部病院)	看護職 2名 介護職 他 19名
5	12/03	9	特別養護老人ホーム えびす	3	摂食・嚥下障害看護	(花巻清風支援学校)	看護職 1名 介護職 他 9名
6	12/26	11	有料老人ホーム北上	6	救急看護	(中部病院)	
7	1/22	11	ケアハウス常心の里	2	皮膚・排泄ケア	(中部病院)	
8	1/23	14	ショートステイ北上	2	皮膚・排泄ケア	(中部病院)	
9	1/24	11	有料老人ホーム北上	5	緩和ケア	(中部病院)	
10	2/19	11	有料老人ホーム北上	1	感染管理	(中部病院)	
11	2/20	11	ケアハウス常心の里	3	摂食・嚥下障害看護	(花巻清風支援学校)	
12	2/21	12	ニチイケアセンター 北上駅前	5	緩和ケア	(中部病院)	

メニュー 番号	研修分野	特別養護 老人ホーム	介護老人 保健施設	有料老人 ホーム等	認知症グル ープホーム	短期入所 施設	計
1	感染管理	1		1	1		3
2	皮膚・排泄ケア			2		1	3
3	摂食・嚥下障害看護	1		1			2
4	認知症看護						0
5	緩和ケア			1	1		2
6	救急看護			1		1	2
計		2	0	6	2	2	12

「認定看護師さん」等による



出前研修 2024

北上市内にある特別養護老人ホームなどの介護施設に、日ごろ、入所者のケアで困っていることや医療や介護技術でスキルアップしたいことなど、岩手県看護協会北上支部の協力により、認定看護師さんなどが施設にお伺いし、講義・演習の研修を行います。

令和6年8月15日（木）から 申込みを開始します！

<申込み方法等>

○申込対象施設

市内の介護サービス事業所等のうち、特養、老健、ケアハウス、認知症グループホームなど、**入所系施設の職員※**が対象となります。

○研修会場

申し込みのあった事業所に講師が出向きます

○申込時期

開催希望日の**2か月前**までに申し込み願います

○費用

無料です

※対象施設等詳しくは、実施要領を御覧ください



<申込みから決定、開催までの手順>



◇ 出前研修メニューの中から1つ選び、所定の様式により北上市在宅医療介護連携支援センター（在宅きたかみ）に申し込んでください。必ず**第2希望日**まで記入願います（持参、郵送、FAX、メール、どれでも可）

出前研修メニュー

番号	研修分野	主な研修内容	時間	研修方法
1	感染管理	・標準予防策、各種感染症対応策 ・防護服の着脱方法等 ・感染症のゾーニング	60分	講義 演習
2	皮膚・排泄ケア	・スキンケアと保湿管理 ・排泄管理、洗浄方法等 ・褥瘡予防、皮膚トラブルの対処	60分	講義 演習
3	摂食・嚥下障害看護	・食事介助の基本、口腔マッサージ等 ・摂食、嚥下障害の特徴 ・誤嚥性肺炎の予防と対策	60分	講義 演習
4	認知症看護	・家族介護者への理解と支援方法 ・不穏時、BPSDへの対応 ・清拭、食事、排泄のケア	60分	講義 演習
5	緩和ケア	・意思決定支援 ・看取りケアで感じたこと、大切なこと ・在宅緩和ケアの実例	60分	講義 演習
6	救急看護	・急変時の初期観察とアセスメント ・一時救命処置と方法 ・意識障害、意識消失時の観察と対応	60分	講義 演習

- ◇ 研修内容の詳細は実施要領を御覧ください。
- ◇ 時間は標準的な目安です。別途ご相談に応じます。
- ◇ メニュー以外で研修したい分野がある場合は、ご相談に応じます。

お申し込み・お問い合わせは…

〒024-8506

北上市九年橋三丁目15-33 北上済生会病院内

北上市在宅医療介護連携支援センター

（在宅きたかみ/石川・菊池）

電話：0197-65-6121（ダイヤルイン）

FAX：0197-65-6122

e-mail：kyoten-haruki@saiseikai-hp.or.jp

HP：http://www.zaitaku-kitakami.com/

実施要領、申込書
はこちらからダウンロードできます



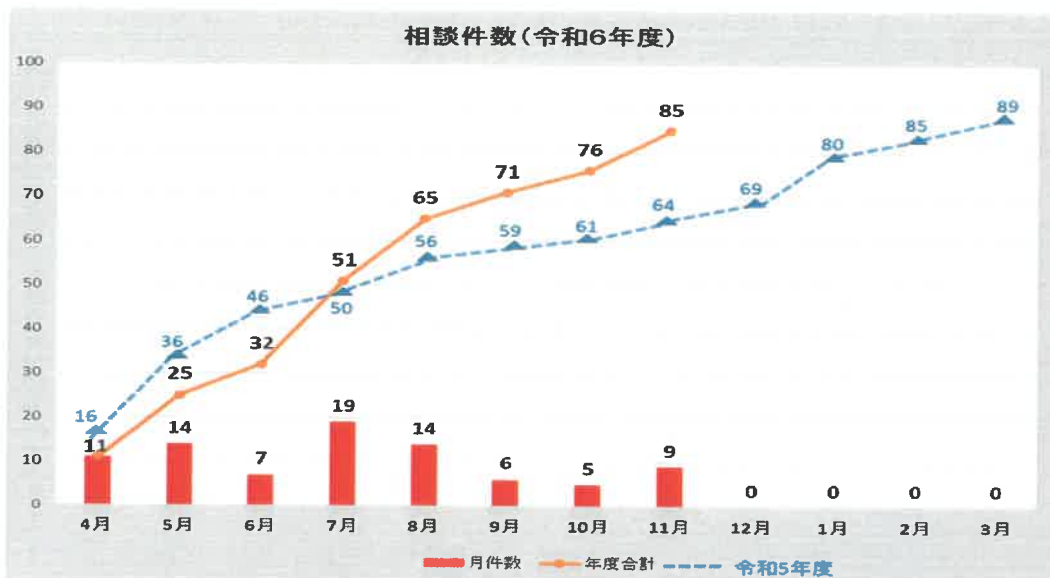
【3年間の研修分野別申込み件数】

メニュー番号	研修分野	申込件数（延期、キャンセル等含む）			計
		4年度	5年度	6年度	
1	感染管理	2	1	3	6
2	皮膚・排泄ケア	1	3	3	7
3	摂食・嚥下障害看護	3	4	2	9
4	認知症看護	1	0		1
5	緩和ケア	0	0	2	2
6	救急看護	0	1	2	3
計		7	9	12	28

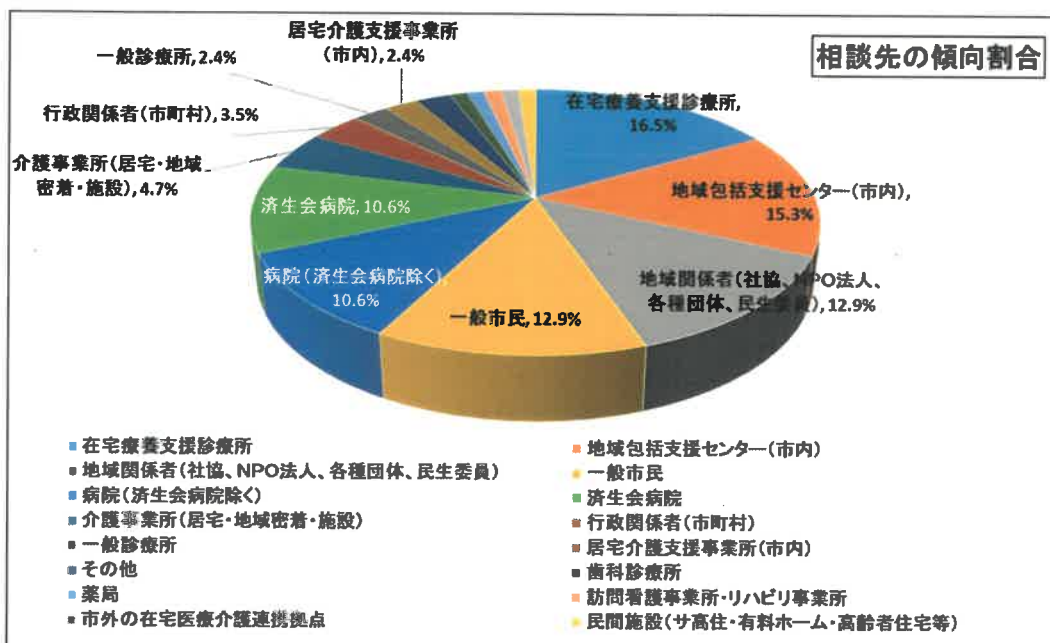
【3年間の事業所種別申込み件数】

事業所種別	4年度	5年度	6年度	計
特別養護老人ホーム	2	6	2	10
介護老人保健施設				
有料老人ホーム等	3		6	9
認知症グループホーム	2	2	2	6
短期入所（老健舎）		1	2	3
合計	7	9	12	28

在宅きたかみ「相談業務統計」(R6.4月～R6.11月)

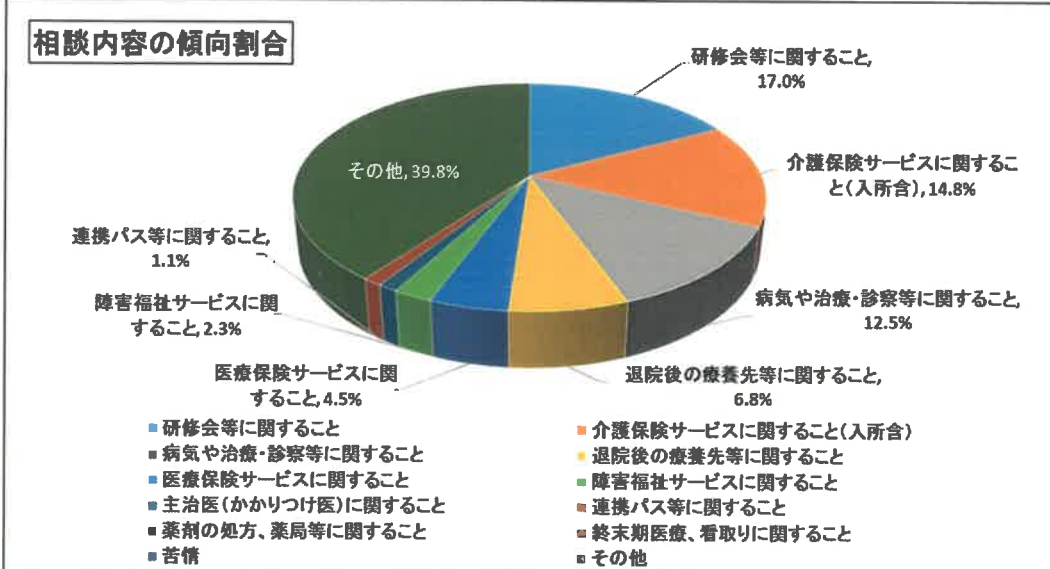


前年度同時期より21件増となっている。もっとも多かったのは7月の19件である。



前年度は一般市民が最も多かったが、今年度の傾向は異なり、在宅療養支援診療所、地域包括支援センター、地域関係者の順となっている。

- ①在宅療養 14件
- ②包括 13件
- ③地域 11件



分類が難しい「その他」が例年通り多いので、項目の再編が必要かもしれない。「その他」で多いのが、生活困窮、権利擁護、レスパイトなど。

- ①その他 35件
- ②研修会 15件
- ③介護保険 13件